

みさき

5号

美咲町議会だより

2006年8月10日発行

食育議論に集中した6月定例会



朝ごはん食べた 小中学校の朝食補完事業（柵原西小学校）

主な内容

- 町振興計画決まる —— 2～3
- 賛否両論の食育 —— 4
- ラストワンマイル工事決まる —— 7
- 食育・町政を問う（12人が一般質問） —— 8～19
- 議会を傍聴して —— 20

行財政改革の指針が決まる

行財政改革大綱・町振興計画(18~24年度)

六月定例会 (六月九日から二十二日まで)

定例会が招集され、専決処分七件、条例案件十六件、予算案件九件、その他六件、追加案件三件が提案、全議案を原案のとおり可決・承認・認定した。町長の行政報告をお知らせする。

3本柱の答申

行財政改革

新しい町づくりをスタートさせる中で、直ちに取り組む必要のある行財政改革。

十二月に十人の行財政改革審議会を設立、行財政改革の諮問をし、五回の慎重審議の後、三月二十七日に答申された。

次の三本柱のテーマに集約されている。

- 一、住民との協働によるまちづくりの推進
 - 二、効率的で透明性の高い行政運営の確立
 - 三、健全な財政運営の維持と財政の弾力性の確保
- 答申書を基に、行財政改革実施計画を作成、二十二人の職員で特別班を結成し実施状況を見守る。

4プロジェクト 町振興計画

振興計画(前期十八~二十年度・後期二十一~二十四年度)が示された。合併に伴い、新町建設計画を策定、それを基に総合的・計画的なまちづくりを進める振興計画である。

優先的に実施する施策を重点プロジェクトとし

- 若者定住・少子化対策
 - 協働のまちづくり
 - 光ファイバの敷設
 - 美咲バスの整備
- 以上、四プロジェクトを強力に推進する。



まちの方針を答申(行財政改革審議会)

防災無線の屋外塔

23基を設置

合併推進体制整備の国補助金一億一千万円を使い、柵原・中央地区に防災行政無線屋外拡声器を二十三機設置し、災害発生時にそなえる。

3億3千万円

の赤字

五特別会計

十七年度決算の結果、五つの特別会計で三億三千万円の歳入不足が生じた。十八年度予算から繰上充用金として不足額をまかなった。五特別会計は、住宅新築資金等貸付事業・柵原飯岡簡易水道事業・柵原北部簡易水道事業・野外趣味活動施設事業・土地開発事業である。

津山・柵原線

共同バス運行始まる

柵原地区で津山 柵原間を町営バスで運行していたが、津山市と協議の結果、共同運行することとなる。

柵原地区で津山 柵原間

を町営バスで運行していた

が、津山市と協議の結果、

共同運行することとなる。

食育で知・徳・体の改善へ 早寝、早起き、朝ごはん

賛否両論の

朝食の補完事業

朝食を食べない日がある小中学生は15〜20%（文部科学省調）もある。基本的な生活習慣の乱れは、学習意欲や体力・気力の低下の要因の一つと指摘されている。

町内でも同様の傾向が見られ、どう対応、解決するかと考えた結果、小中学生に乳製品十種類を朝食の補完として五月から試行した。賛否両論あるが、目的は

家庭での朝食の重要性を認識すること、「早寝、早起き、朝ごはん」へ基本的な生活習慣の向上にある。

食育推進に 委員会を設置

学校・家庭の食育が子どもたちに大切である。二十二人の「小中学校食育推進委員会」を設立す



健全な食生活へ（食育推進協議会）

る。専門家の参加もお願いし、子どもたちの食生活を検討する。

子どもを守る 安全・安心対策を

最近の報道から、子どもは誰を信じ、頼ればよいか分からない状態。子どもの安全には地域をあげて取り組む必要がある。

バス通学、パトロール、スクールサポーターなど取り組んでいるが、すべての犯罪から子どもを守ることは難しい。今後は、地域・学校・警察・行政と連携を強化、可能な限り安全策をとりたい。



ゆとりある教育へ（二学期制導入）

町有バス利用で

負担軽減

心身の健全な青少年の育成に、スポーツの活性化が大切。保護者の負担の軽減を考え、中学校部活動の試合など、子どもたちの送迎に町有バスの利用を可能にした。大いに活用してほしい。

二学期制が 始まる

学力向上を目指し、成果を期待している。

国では教育改革が進められている。美咲町の小中学校で本年度から二学期制を導入した。人間力を

食育事業賛成多数で可決

一般会計補正予算

三億三千六百万円を追加総額を百三十八億二千二百万円とするもの。
 今回の補正予算は、関心の高いものが多く、全員協議会で、集中審議をした。
 採決では、食育推進に賛否があり、賛成多数(十一対三)で補正予算を可決した。

防災無線に

二億一千万円

歳入の主なものは、防災行政無線の改修に市町村合併推進体制整備補助金(国庫補助金)二億千万円が増。児童手当の改正による国の負担金の減、同額を県負担金の増(千四百万円)小規模土地改良県補助金千百万円の増。繰越金八千三百万円の追加。
 減額は諸収入、雑入など一億八千万円。
 歳出の主なものは、福祉巡回バス、児童福祉施設などの民生費三千三百万円。農地改良に千九百万円、道路新設改良に二千万円、防災行政無線改修事業二億千百万円。
 教育費の五千万円は、小中学校の食育推進事業(乳製品)六百万円、地域間交

流施設整備(大井和)千六百万円などである。

賛否両論の食育

六月定例会に提案された補正予算で、小中学校の児童生徒に朝食の補完に出された乳製品に一般質問も集中。賛否両論が戦わされた。補正予算の討論でも、十



わたしにもください(中央中学校)

反対

人が登壇し賛否を論じた。
 ○朝食の重要性を認識させた効果は認めるが、乳製品を出すことで、朝食を食べなくなる行動も。
 ○朝食をとっている80%以上の保護者には歓迎されていない。
 ○食育は、「早寝・早起き・朝ごはん」運動こそ

賛成

が原点。
 ○夏休みまでの期間が妥当
 早急に止めるべき。
 ○一石を投じ、町長の思いは保護者、子どもに通じた。保護者も理解した。早急に中止すべき。
 ○家庭教育と学校教育を混同している。

○朝食をとっていない子どもへの配慮であり、二十日足らずでの結論は早すぎる、続けるべき。
 ○反対は食べさせている家庭。現実に朝食を食べていない子どももいる。放つてはおけない。
 ○食育は議論して解決するものではない。行動すること。続けるべき。
 ○多動性の子どもも朝食をとることで落ちつくという。教育環境面より、朝食の補完は行政の役割、

補正予算Q&A

続けて最終的に効果を実証すべき。

Q 柵原の小中学校で行うスクールサポーター配置の内容は。
 A 登校しにくい子などの相談にのる外部講師の指導をする。

Q 業で勝負し支援事業は？
 A 週一回、外部講師を招き集中授業を行う。

Q 乳製品(食育)の保存に保冷庫を八校に設置したが、資金はどうしたか。
 A 県から半分、おかもやま酪農協が半分。町はコンセントの改修など。

Q 児童館の運営は社会福祉協議会ではないのか。
 A 児童館の運営は社会福祉協議会ではないのか。

A 社会福祉協議会から断られ、町で運営することになったため。

A スクールバス予算で変更が多いが、なぜか。柵原地区のバス運行を随意契約から吉井観光・中鉄バス、JATAクシ

ーに委託契約を変更のため。Q みさきネットを地域の集施設に設置するか。
 A 要望は聞いている。検討中。

Q 食育推進で乳製品の予算六百万円の根拠は。
 A 五月から十月六日までの七十四日、食べる人数を六割程度に見込み、平均単価六十円を積算したもの。

Q 諸費の委託料七十五万円は。
 A 町の顧問弁護士料の年間委託料である。

Q 児童館の運営は社会福祉協議会ではないのか。
 A 児童館の運営は社会福祉協議会ではないのか。

Q 業で勝負し支援事業は？
 A 週一回、外部講師を招き集中授業を行う。

Q 乳製品(食育)の保存に保冷庫を八校に設置したが、資金はどうしたか。
 A 県から半分、おかもやま酪農協が半分。町はコンセントの改修など。

Q 児童館の運営は社会福祉協議会ではないのか。
 A 児童館の運営は社会福祉協議会ではないのか。

常任委員会の審査

総務

津山市との共同バス運行決まる

今議会で付託された議案は条例十六件、陳情四件、町営バス特別会計補正予算その他五件である。主なものは、

辺地に係わる公共施設の総合整備計画の策定

今回、道路改良など辺地事業で計画策定された地域は、中央地区の和田北、旭地区の中、西川、小山、大山、柵原地区の高城、定宗山、八神の計八辺地。この計画策定の認定により、有利な辺地債（借金）で道路改良など実施するもの。

問 辺地債の元利償還金にかかるとは。

答 町が償還する元金。利子の80%を国が助成。交付税の中に算入、有利な起債である。

久米郡障害程度区分認定審査会の共同設置

昨年、障害者自立支援法が制定。その施行が本年十月から運用されることにより、福祉サービスなど決定するにあたり久米南町と共同で設置するもの。

津山・柵原線共同バスに関する事務の委託

町営バス津山・柵原線が津山市との共同運行となりその事務を美咲町が受ける。

問 共同運行となる津山市からの負担金は。

答 路線バスの乗客は津山市民が約二割。負担金も同率とし今年度九月分まで百十五万円。

民生教育

柵原

東幼稚園を保育園に

柵原地区の保育園・幼稚園のあり方を検討した。藤原保育所は三才まで保育、定員は四十五人。北和



いただきます～す たのしい昼食（藤原保育所）

気、南和気地域から津山方面で働く人にとって大変不便であり、保育園がほしいとの声も多くある。現在の東幼稚園を保育園にするのが妥当である、と意見一致した。

今後は、西幼稚園が一園残ること、児童館の設置、藤原保育所の改修など検討が必要。

資金援助の協定書は

平成九年一月二十八日、社会福祉法人千寿福祉会理事長影山太郎氏と柵原町長鳥越明氏との間で協定書が作成された。内容は福祉施設「さやかなる苑」の建設費、町の資金援助は、国・県補助金の二分の一とし、元利償還助成の上限を一億五千万円とするものである。様々な経過の中、平成九年十二月二十二日、柵原町議会で議決した債務負担行為の内容は、元金一億五千万円と償還利子となつて

いる。平成九年以降、両者に協定書の締結はなされていない。利子分二千七百万円余の扱いについて協議したが、協定書の内容を尊重

し、助成は一億五千万円と意見の一致をみた。

特別会計の新設

久米郡障害程度区分認定審査特別会計予算は総額千二百二十万円。久米南町と共同で新設するもの。

産業建設

西川上

簡易水道の認可申請

六特別会計補正予算、陳情四件、要請一件を審査し、いずれも原案どおり承認した。

主なものは、三休公園事業特別会計は、民話村水洗トイレの改修四百八十万円。障害者用を追加し、女性用の改修をする。

統合簡易水道事業特別会計（旭）では、西川上簡易水道の認可申請に伴う予算七百五十一万円。

簡易水道、下水道事業の四特別会計に地方債（借金）

の補正をした。これは、国の補助金を差し引いた90%が借入限度だったが、十八年度から百パーセントになったため。

野外趣味活動施設事業特別会計（柵原）は、ふれあい農園の換地が未登記のため、測量費などに三百三十一万円を追加。

十七年度の中山間地域等直接支払制度実績の報告があり、参加農家数一九九四戸、一一一集落、交付金額一億七千五百九十七万円。十七年度から五年間継続実施される。

農業の担い手に関する法律が成立したが、その中で集落の資源・環境を守る「農地・水・環境保全向上対策」の内容説明があった。細かい内容が決まったら、総合支所ごとに地域へ説明会を予定。秋ごろが目標。十八年度小規模土地改良事業の要望個所と町道吉末線改良舗装工事（中央）の説明もあった。

条例16件を承認可決

今定例議会に提案された条例は新規2件、改正13件、廃止1件、計16件が総務常任委員会に付託、審査され本議会で委員長報告のとおり可決した。

みさきネット分担金徴収条例

みさきネット（ラストワンマイル整備事業）の分担金（加入金）徴収に伴う必要事項を定めるため。

大井和西柵田公園設置及び管理に関する条例

大井和西柵田見学者などの憩いの場所の提供および来訪者などと地域交流を図る施設として大井和西柵田公園を設置するため。

個人情報保護条例の改正

指定管理者制度の導入に伴い、個人情報保護に関し必要な事項を規定するため。また、総務省政策統括官通知により個人情報保護対策に関する諸規定の整備を行うとともに、情報公開、個人情報保護に関する調査審議を行う機関を統合し適正かつ円滑な制度運営をより効率的に推進するため。

情報公開条例の改正

指定管理者制度の導入に伴い、情報公開に関し必要な事項を規定するため。および情報公開、個人情報保護に関する調査審議を行う機関を統合し適正かつ円滑な制度運営をより効率的に推進するため。

非常勤職員等の報酬及び費用弁償に関する条例の改正

情報公開審査会、情報公開制度運営審議会および個人情報保護審査会を統合し、新たに情報公開、個人情報保護審議会を設置するため委員の名称を改正するもの。および障害者自立支援法に規定する障害程度区分認定審査会を久米南町と共同設置し、その事務を美咲町が担うことから、委員の報酬および費用弁償について規定することが必要となったため。



改修され人気上々（エイコンスタジアム）

行政手続き条例の改正

行政手続き法の一部改正、指定管理者制度の導入および美咲町行政手続などにおける情報通信の技術の利用に関する条例の施行に伴う諸規定の整理のため。

町営バス運行事業に関する条例の改正

津山市との共同運行に伴い、事業名、運賃の整合性を図るため。

特別会計条例の改正

美咲町営バス運行事業に関する条例の一部改正に伴う特別会計名の変更および障害者自立支援法に規定する障害程度区分認定審査会を久米南町と共同設置し、その事務を美咲町が担うことから、特別会計の設置が必要となったため。

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の改正

一週間四十時間の勤務時間の適正化を図るため。

防災会議条例及び水防協議会条例の改正

水防法の改正に伴う規定の整理のため。

国民健康保健診療所使用料の改正

診療報酬に係わる厚生労働省告示の施行に伴う条文の整理のため。

企業誘致条例の改正

会社法の施行に伴う条文の整理のため。

Eイコンパーク条例の改正

地方自治法の改正により、美咲町の公の施設の管理を指定管理者に行わせるため、条例改正するもの。

廃棄物の処理及び清掃に関する条例の改正

真庭広域連合の廃止に伴う条文の整理を行うため。

環境保全条例の改正

公害防止および廃棄物など不法投棄の防止に資するため、環境保全監視員を設置することおよび環境保全に関する協定の締結についての規定を加えるため。

環境保全対策監視委員会設置条例の廃止

美咲町環境保全条例の一部改正により、本条例に規定する監視委員会の業務を引き継ぐ環境保全監視員を設置することに伴い、監視委員会の設置根拠となっている本条例を廃止するもの。

ラストワンマイル 防災行政無線 の工事

臨時会

完成は来年三月

七月二十四日、臨時会が招集、工事請負契約など提案され、可決した。

テレビ放映は十九年十月から。

ラストワンマイル整備事業工事は、三工区に分け、それぞれ企業体を結成、七月十三日指名競争入札した。落札合計額二十二億二千四百万円。工事完成は十九年三月。四月から告知放送・インターネットのサービスを開始する予定。なお、

町公民館本館を分庁舎とし、みさきネットの放映基地として利用。新たに旧厚生小学校を町公民館本館とする条例改正も行った。また、柵原・中央地区に設置する防災行政無線の屋外放送塔の入札は七月十八日。一億五千六百万円、三月完成予定。

自治功労者表彰

受賞おめでとつございませす

議員在職三十年以上

議員在職十五年以上



安藤暢昭 議員



三船勝之 議員

陳情 審査

敬称は省略させていただきます。

◆障害者自立支援法施行に伴う地域生活支援事業についての陳情

岡山県立誕生寺養護学校 PTA会長 村上三子ほか一人

福祉サービスの利用により学校・家庭だけの生活でなく自立と地域社会の広がりにつながることであり採択とした。

◆住民の暮らしを守り、安全・安心の公共サービス拡充を求める陳情

岡山県労働組合会議議長 妹尾 幸敏

「官から民へ」と改革が進められ公共サービスの低下が進むのではとの不安は理解するので趣旨採択とした。

◆郵便局の外務事務を統合する計画に反対する意見書提出を求める陳情

岡山県労働組合会議議長 妹尾 幸敏

郵政民営化は既成方針である。外務事務の統合は民営化に向けての措置と解する趣旨は理解するが採択とした。

◆日本と同等の安全対策のない、アメリカ産牛肉の輸入再開に反対する陳情

農民運動岡山連合会代表者 坪井 貞夫

◆「ずさんな米国牛肉の輸入に抗議し、BSEの万全な対策を求める」陳情

食とみどり・水を守る岡山県労働会議議長 鳥越 八郎

消費者も賛否両論 水際など検査体制の強化は必要で

ある。趣旨は十分理解できるので二件とも趣旨採択とする。

◆「品目横断的経営安定対策」にかかわる陳情

農民運動岡山連合会代表者 坪井 貞夫

農業の担い手に関する新法も成立。集落営農に取り組んでいるところもあり、現場は動いている。制度の中止、凍結はできないので採択とする。

◆地産地消自治体宣言地域農林水産業活性化を図るための「地産地消自治体宣言」を求める陳情

農民運動岡山連合会代表者 坪井 貞夫

地産地消は、積極的に各地で取り組み農業所得に大きなウエイトを占めている。宣言をするまでもなく、これからも食育と合わせ取り組みため趣旨採択とした。

◆地方交付税制度の財源保障機能を堅持し、充実させる陳情

自治労連岡山県本部 執行委員長 妹尾 幸敏

地方自治体は真に地方交付税制度で財源が保障。歳出削減も限度がある、地方自治体としては当然のこととし採択とした。

◆高金利引き下げに関する陳情

岡山県司法書士会会長 梶原行正ほか二人

市中貸金業者の貸付金利は、高利で社会問題も多発している現状。趣旨採択とした。

◆道路整備予算確保に係わる市町村議会で意見書採択の取り組みについての要請

美咲町長 奥村 忠夫

豊かな生活の実現と国土の均衡ある発展には道路整備は重要であり採択とした。

問 一般質問

Q ごみは大丈夫か

A 広域での対応が必要



池上弘道 議員

問 ごみ処理の現状、問題点と今後の課題を聞く。協働のまちづくりという観点からも町民みんなが同じ問題を共有することで解決できるのではないか。

答 容器包装、分別収集、再商品化の位置づけをどう考えているか。

奥村町長
美咲町で可燃ごみは

日量約十トン発生している。柵原地区は民間企業のクリーンワークスの溶融炉で処理。中央地区は津山圏域西部衛生施設組合で、旭地区は岡山県中部環境施設組合で処理しているが十年ぐらいで改修が必要。津山地区広域処理センターの建設が望まれる。

容器の分別でペットボトルは商店などで回収している。ビン・缶・紙なども分別回収し、包装も簡易に包み紙をやめるなど、3R運動を展開し、減量化に努めたい。

Q 災害に対応できる井堰を
A 受益者と話し合い

問 老朽化した農業用井堰は修理が必要。修理の時には、災害時にも対応できるように井堰の形状など地元とも協議しながら修理してほしい。

答 清水建設課長
農業用水を取水する井堰が数多く設置されている。

一、二級河川は岡山県の管轄となっている。井堰は通常受益者が管理する。河川の改修工事、しゅんせつ工事、災害復旧工事などは県が行う。井堰の老朽化および災害による改修は受益者と十分話し合い処理する。

答 奥村町長
井堰にはそれぞれの歴史がある。地元受益者の皆さんの意見統一をお願いしたい。



老朽化した農業用井堰（新城地域）

Q 格差のない施策を

A 緩やかに統一

問 諸施策は合併協議で決定されたもの、あるいは十七年、十八年をもって決定されるもの、それぞれ順序を経て決定されていく段階にある。町内平等で格差のない施策の統一と、住民への周知徹底はできているか。

答 奥村町長
合併して一年が経過

した。いろいろの施策の中で、公平、平等な目でバランスをとりながら進めていく。あれもこれもから、あれがこれかということだ。改めるということは非常に抵抗がある。地域性を考慮し、緩やかに統一していく。施策のPRも広報紙、地域での説明会、オフトーク、防災無線、そして役場の窓口にもいろいろ資料をそろえている。また必要に応じて出向き説明している。職員には時間を惜しむな、足を運べと指導している。

町政を

Q 食育の目的は

A 食べる大切さ



岸本清治 議員

問

食育事業の実施は、町内外に大きな波紋を呼んだ。実施後一カ月が経過した。この食育事業の目的が十分理解され浸透していないのではないか。

答

奥村町長 子ども、保護者も自覚し関心を深め、食べる大切さ、食べさせる大切さが理解いただけたと、とらえている。
乳製品を食べる量も、最初は百パーセント以上であったが現在は50〜60%に落ちついてきている。

給食の

食べ残しがある

問

生活習慣病予備軍となる食生活の子が多い。基本となるカロリー計算をし個々にアドバイスする。やるならそこまで考えなければと思う。

また学校給食の食べ残しがあると聞くが、この事をどう考えるか。

答

奥村町長 朝食の補完とし、バランスのとれた食生活を取り戻していかなければと思う。
食べ残しは調理の方法また、調理師、栄養士が代わったら食べ残しが増えるとか、学校によってはあると聞く。教育委員会で今対応している。

答

中力教育長 朝食はだれが食べさせ



休憩時間に乳製品（加美小学校）

せるのか、基本的な質問があり、朝食を食べさせるのは家庭であり、親の義務である。それができていないからこつという問題がでてきたわけである。
文科省でも朝食を食べないことを心配し5〜6年間追跡調査を行い、食べないことが落ちつかない子に育っていると結論つけた白書

も出ている。この事業によって多少落ちつきを取り戻したという報告もあり、今後しっかりと検証していきたい。

食育推進委員会の

設立は

問 食育推進委員会の設立を考えると聞くが構成は。

答

中力教育長 小中学校の食育推進委員は、保護者・先生など二十二人。アドバイザーとして、川崎医療福祉短期大学守田先生にお願いしている。推進委員会を開き、基本的な生活習慣の見直しを検討し、朝食欠食ゼロを目指す会を進めていききたい。

一般質問

乳製品導入はなぜ急いだのか

朝食の問題は考えていたこと



草薙 修議員

Q

A

問

乳製品を朝学校で子どもたちに食べさせることについて、なぜ急いで事業実施したのか。五月二日の議会全員協議会では十月までの嗜好期間で行う提案があった。参考資料は平成十四年の柵原町母子保健計画の基本目標に対する調査資料であった。最近のものはなかったのか。

五月八日にPTA代表者に説明会を開催して事業実施へ理解を求めた。資料は議会へ提出したものを柵原を町内に変更したのはなぜ。
事業実施により朝食を食べない子どもが増えるようにも感じる。授業間で食べるため、歯磨きができない、また生活習慣病になる恐れもある。休憩時間、遊ぶ時間もないなどの現状の問題点を把握しているのか。
アトピー体質、牛乳アレルギー



朝食も乳製品もいただきます(柵原東小学校)

ルギーの親子はこの事業に大変苦慮しており、対応はどうするのか。
教育現場の問題は、教育長が学校や保護者と話し合い、問題を解決していくのが本来の姿。この事業はトップダウンである。乳製品導入に対する教育長の思いは。

答

奥村町長
子どもたちに正しい食生活をどう教えていくか。朝食の問題は以前から考えていたこと。今までも呼びかけてきたが改善され

なかった。急いだとは思っていない。この事業を実施するに当たり手順にお粗末があったならおわびする。
調査資料は、五年に一度調査するので、柵原のものが一番わかりやすかったので使用した。

学校教育の現場のトップは教育長だが、総合的な行政責任は町長にある。政策は、教育委員会と連携をとりながら進めていく。
今回の事業で牛乳は飲まないが、飲むヨーグルトは飲むことがわかった。概念

答

を崩すところも多くあり、食育を基本から考えていく。アレルギーにより生命を脅かすことはあってならない。家で自分の食事をしていると補食は必要ないので、保護者の方も子どもにきちんと教えてもらいたい。

答

中力教育長
家庭教育へ学校教育が入り込めるのは80%が限度。入れないのが食事に関すること。学校では、大多数の子どもは健全な学校生活を送っている。家庭では、早寝早起きの習慣がなくなっており、生活リズムが崩れている。このことが体力・学力の低下、肥満、糖尿病が増えている問題もあり、小児科の先生の意見も参考に検討する予定。今回の食育事業は賛否両論、大反響を起こした。この機会を大切にしていく。基本的な生活習慣、食生活が乱れてきており、まず最初に早寝早起きの習慣を進めていく。関与しにくい部分へ踏み込むので、多くの人から意見があると思う。参考にして一つ一つ問題解決しながら進めていく。

家庭教育へ学校教育が入り込めるのは80%が限度。入れないのが食事に関すること。学校では、大多数の子どもは健全な学校生活を送っている。家庭では、早寝早起きの習慣がなくなっており、生活リズムが崩れている。このことが体力・学力の低下、肥満、糖尿病が増えている問題もあり、小児科の先生の意見も参考に検討する予定。今回の食育事業は賛否両論、大反響を起こした。この機会を大切にしていく。基本的な生活習慣、食生活が乱れてきており、まず最初に早寝早起きの習慣を進めていく。関与しにくい部分へ踏み込むので、多くの人から意見があると思う。参考にして一つ一つ問題解決しながら進めていく。

Q

朝食を食べる運動を

A

PTAを支援する

問

今年度町P連の目標は「朝食抜き児童・生徒ゼロ」を掲げ、早寝早起き朝ごはん運動を展開していくこととなっている。食育事業を中止して、この運動を町民運動に切り替えてはどうか。

答

奥村町長
高齢者にはヘルパー制度があるように、子育てに困っている家庭へ行き問題を解決していく子育てヘルパー制度の導入を検討してはどうか。

朝食を食べるまち宣言は、行政主導型になる前にPTAが声を上げる。それをバックアップする方向で考えている。
子育て相談は、子育て支援センターで相談してもらう。保健センター、愛育委員にも応援してもらっている。子育てヘルパーについては、しばらく時間をいただきたい。

Q 食育推進事業
説明不足では

A はつきりするまで
公表できなかった



三船勝之 議員

として、何かできることはないか、また、予算面など町長に相談してきた。内容は、教育委員会が主体で行ってきた。

問 学校教育は、教育委員会の所轄である。今回の乳製品導入の経緯を考えると、教育委員会の主導でなかったのではないか。

また、議会も五月二日の全員協議会で聞いたのが最初だ。保護者が聞いたのも四月の下旬のPTA総会である。この事業の目的などきちんとした説明が、足りなかったのではないか。

答 中力教育長
数年前から学校で、落ち着きのない子どもが増えてきている。朝食を食べないのが原因の一つであるという声があり、その対策

として、何かできることはないか、また、予算面など町長に相談してきた。内容は、教育委員会が主体で行ってきた。

食育は、関係の会議のたびに対策が必要という話しはしてきたが、内容がはつきりするまで公表できなかった。説明が遅れたことはおわびする。

導入前の
アンケートは

問 平成十四年のアンケート結果や、全国的な調査を基に、事業実施した。保護者に聞いても、朝食をとっていない子どもは見当たらないようだ。導入前にアンケート調査を実施すると言われたが、行われていないのはなぜか。

答 中力教育長
アンケート調査は内

容を検討してきたが、実施までに間に合わなかった。朝食の実態は、子どもに聞くなどして、調査している。問い合わせについては、参考資料にならないので、文部科学白書などを参考に、慎重に行う。

学校給食・家庭で考えるべきでは

問 導入から一月が経過した。朝食をきちん

と、とっていた子どもが

まり食べなくなったという事も聞いた。小学校では十分間の休み時間の中で、補食や、トイレに行ったりで低学年が時間内で対応ができていない。

答 中力教育長
カリキュラムの中に

地域では、行政がそこまでするべきではない、食育推進というものは、学校給食や、家庭の中で考えるべきではないかという声もあるが。



先生も大変（旭中学校）

この事業が入ってきたので、子どもたちへの対応は、学校の意見を聞きながら、改善の方向に努めていく。

Q 10月に
見直すのか
A 状況を見ながら
考えていく

問 十月初旬までが、しこころ期間だと言われているが、十品目から好みを選ぶ嗜好期間なのか、試験的な試行期間なのか。

また、十月でもう一度見直しをするのかどうか。

答 奥村町長
十月まで行っている

ようなものが見えてくる。給食時間を変える。ご飯に変える、おにぎりにする、十品目を三品目にするなど、いろいろ方法がある。学校現場の状況を見ながら考えていきたい。そういう意味での期間である。

一般質問

残念な措置
学校司書がゼロに
行革のなか町内
適正配置に配慮

柵原学区



寒竹 壽 議員

書を一人配属した。現在、美咲中央小学校で本の整理に追われている。今後は、中央地区の三校を随意巡回する形で図書の実を回りたい。
なお、旭、柵原地区には図書館司書が二人いる。そのうちの一人は学校図書へ時々出ていく話しを進めている。近々、かわつていく考え。今後この方式でやってみて、学校司書の役割を研究していく。
今回の措置は、行革のなかであり理解を。

問 柵原地区の福祉バスは、四月から運行改善している。利用者の立場から

Q 4月からの福祉バス苦情つづき改善を

A 1台増車し
2台で運行する

らのサービス改善とはいえず苦情、苦言の続発。さらなる改善を申し入れしているが、その対応は。
池上柵原総合支所長

対応する案を協議。六月十五日から実施する。
改正内容は、先に指摘もあつたが、一台を増車し二台運行とする。
午前の便は、昼までに帰れる運行としている。
当面試験運転とし、必要な要望に内容を確認し、運行改正に対処したい。

Q 用地確保はできている
診療所の設置を
福祉バスの活用で病院へ

問 足腰の弱い高齢者は遠隔地への通院も苦痛である。
旧柵原町ではエイコンパーク内の福祉ゾーンに診療所の建設予定地として造成している。

答 奥村町長
地域内には病院もある。福祉バスを二台運行することにしているので活用されたい。町も元気なお年寄りづくりに力を注いでいる。当面大切なことであると考えている。

問 柵原地区の二小学校・中学校におのおの一人の司書が配属され、図書管理などしている。学校・保護者から教育の充実、とりわけ活字離れの今日、読書への取り組みに評価を受けていた。
本年四月から両校の司書の配置がなく非常に残念な措置となっている。今後司書の配置の考えは。
中力教育長

答 全町での適正配置に配慮した。特に旧中央町には司書の配置はなかつた。三校の統合に伴い図書



柵原図書館「エイコンマナビー」

は。診療所の設置を望むが考えは。
その後、合併などで診療所の話も休止している。地域住民の要望の期待に応える診療所の設置を望むが考えは。

手厚い福祉が今のところやれないのではと思つている、理解を。

Q 若者定住に
残してほしい家賃補助

A 美咲町の制度に統一



山本宏治 議員

答 奥村町長
十七年度の家賃補助
は、対象者二十人、百八十

二万円である。
合併協議会の申し合わせ
事項で十九年度末に制度を
廃止する。しかし、家賃補
助には美咲町新婚向け賃貸
住宅家賃補助金支給事業な
どあり、今の旭地区の制度
を変えていくと理解された
い。公平性を保つ制度を考
えていく。

問 旭地区では平成十一
年度から若者定住対
策に、家賃補助のある町営
住宅制度を進めてきた。合
併協議の中で十九年度末に
家賃補助が廃止となってい
る。

この制度の目的は、明る
く快適で魅力ある豊かな地
域づくりを図り、町の発展
に寄与すること。

過疎、高齢化、交通不便
な旭地区だが若者定住対策
は、地域の元気な源になっ
ている。若者の生活支援の
ため、家賃補助は、廃止す
るのでなく見直す方向で検
討してほしい。



住んでみたい 若者定住住宅「夢 清水」



元気に体操 若者定住住宅「夢 先谷」

空き家の情報発信を

問 高齢化で空き家が目
立ち、地区活動にも支
障が出ている。旭地区では、
Uターン、イターンで頑張
っている人もいる。

情報発信を上手に利用す
れば空き家、土地などの問
い合わせがあると思う。

町で空き家、廃屋を調査
し、商工会、農協、宅建業
者と協議、町のホームページ
などで情報発信してはど
うか。

答 奥村町長

旭地区では大勢の人
が移り住み、地元の人とも
うまく付き合いができてい
る。

情報伝達とパブリシテイ
ー（間接的宣伝広告）は、
行政にとって大切である。
パブリシティーをいかに使
うかが、これからの地域活
性の源だと考えている。

商工会とも協議し、産業
課でも様々な研究をし、地
域活性化につながる空き
家、土地などの情報発信を
していきたい。

一般質問

Q 柵原福祉バスの
運行路線の変更を

A 路線バスの形を守り
要望に添い検討



下山和由 議員

問 福祉バスは高齢者に配慮した運行だが、四月からの運行では利用者にとって大変不便との声を聞く。特に柵原地区には田口医院に通院の人もいる。

福祉バスは運行されず、やむなくタクシーなどで通院している。六月十五日からの運行では地域により利便が図られるが高城地域は、福祉バスの運行もない、タクシー料金の負担は高齢者にとって経済的にも大変だ。
こうしたことに対して今後、検討の余地は。

答 池上柵原総合支所長 従来、個別対応の福祉ふれあいバスから定期路線バスの形とした。いろいろな苦情のなかで一台増車し、二台での運行。今後、路線バスの形を守りながら、運行路線は再度検討していく。時間をいただきたい。

Q 新規就農者に
行政の支援を
やる気のある人には
積極的に支援する

問 農地の荒廃が進んでいる、新規就農を目指す意欲的な人のために農用

地の提供、労働力の確保、市場の開拓、奨励制度など行政として支援していく考えは。

答 奥村町長 旧中央町では、積極的に就農者の受け入れを行ってきた。新規就農者は、二年間の研修制度で月十五万円の生活費が支給される。提供できる遊休地はある。農業経営は難しいが、やる気のある人は大いに受け入れ、あっせんなど積極的に取り組んでいく。



2台で運行 柵原地区福祉巡回バス（吉井川荘前）

Q ナタネから燃料へ
A 資源作物循環
システムを推進

問 システム推進事業としてなたねを栽培し天ぷら油をとり、その廃油でディーゼル用燃料の話も聞

く、この事業の取り組みについて問う。

答 池上産業一課長 この事業は農村型資源作物循環システム推進事業で、県が昨年度から新設、四年間の事業。美咲町では十七年度から三年間の事業として取り組み、昨年度はなたねを約二ヘクタール栽培。今年度は昨年よりなたねを絞り天ぷら油に、これを回収してディーゼル用の軽油を作りたい。なたねは今年、来年も三ヘクタールの作付けを予定。

問 香花温泉「ほほえみの湯」は好評で旭、柵原地区の人も増えている。しかし、進入路が分からないとの苦情、案内表示板の設置を。また、夏の利用時間の延長を。
答 奥村町長 看板は設置している。目につくよう対応する。利用時間は変更したい。

Q 柵原にも児童館を

A 幼・保一元化と 合わせて考えたい



日神山定茂 議員



仲良く遊んでいます(加美児童館)

問 児童館は、働く若い親子には大変必要な施設であり、休日・放課後の子どもにとって、安心・安全な施設である。旭児童館は毎月延べ三百人、加美児

童館に毎月延べ五百人以上の利用がある。児童館にはそれぞれ二人の指導員が配置されている。指導内容、運営の方針は。柵原地区では二幼稚園を利用して児童保育が行われている。柵原地区での児童館の対応・準備は。

答 竹嶋住民二課長
児童館は地域において児童生徒に健全な遊び場を与え、健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする児童施設である。事故やトラブルのないよう指導している。遊び、宿題、パソコンや生活指導も行い、悩み事相談なども受け

ている。運営は、まだ手さぐりの状態である。時間をいただきたい。

答 奥村町長
柵原地区の児童館の設置は、今取り組んでいる幼・保一元化の問題と関連性もある。議会の意見も聞き、取り組みたい。

Q 「いざ」のときの訓練は

A 学校でも防犯指導している

問 毎日のように子どもを巻き込んだ悲しい事件が報道されている。町内でも学校単位で防犯教室が開催されている。その場に遭遇したとき適切な対応はなかなか難しい。子どもたちも自分で自分を守ることは大切だ。防犯ベルの使用や大声を出すなど「いざ」というときに即した訓練は、できているか。そういう準備が犯罪の抑止に大きな力になると思う。

通学路の道路改修工事は事前に学校などへ連絡しているか。

答 中力教育長
子どもが犯罪の対象となる危険性が非常に高くなっている。特に登下校時の事件が約八割であり、目を離すことはできない。学校の防犯指導は、朝礼では校長が、教室では担任が行

Q ごみの減量化の指導を

A 分別を周知徹底したい

問 ごみ対策の中で不燃ごみの減量が一番の課題だ。可燃ごみ・不燃ごみの中に資源が20%程度含まれていると聞く。ごみの袋で出し自分の手から離れたらいいと思っている人もあるのではないか。ごみの減量化、分別をもっと指導できないか。

通学路の工事もその都度、学校・保護者へ知らせている。

すべての情報を素早く家庭へ知らせ、安全・安心に取り組んでいる。

安全を守るために、役場の職員、PTA、地域の人でパトロールも強化している。

答 黒瀬生活環境課長
古紙類を不燃ごみに入れて出すこともみられる。不燃ごみから資源へ分けられるものもかなりある。分別によりごみの減量も図れる。ペットボトルはスーパリーなどに回収を願っている。ごみの分別・減量化を広報紙などで周知徹底していきたい。

答 奥村町長
津山ブロックごみ処理協議会で、総合ごみ処理センターの建設場所を公募で選ぶと津山市長が表明した。美咲町はどのように対応するか。

総合ごみ処理センターの建設は今までの経緯も含め、津山市に精力的に進めてもらうしかないと思っている。

一般質問

Q 主体性がみられぬ 教育委員会

A 昨年から食育を 検討していた



安藤暢昭 議員



どれにしようかな (美咲中央小学校)

問 食育問題は教育委員会が中心になって進めていくべきだが、教育長の取り組み方が弱い。今回の食育事業推進には、学校やPTAとの相談、協議に教

育委員会の主体性がみられないが。また、食育の目的が朝食の補完、朝食の重要性の再認識である。朝食をとった子が学校で食べることは問題ではないか。

答 中力教育長
十七年十一月から食育基本計画が示され、教育委員会でも食育が導入されることを予測していた。朝食をとらないことが子

問 今回の食育事業は、計画の段階から町長の独断専行があったのではないか。
全国初の試み、一番大きな教育問題であり、熟慮と関係機関・団体と協議し取り組むべきだ。昨日のおよびは独断専行を含んでいるのか。

どもの成長に影響しており、ご飯や牛乳をとらせる提案をし、食育を検討していた。はっきりしないことは学校現場に下ろせなかったのが実情である。
食育上のマイナスイ部分は教育委員会でも検討課題としている。「早寝・早起き・朝ごはん」運動などで基本的な生活習慣を身につけさせたい。

答 奥村町長
食の問題は、今まで長い間言われながら改善されなかった。いつ、だれが、どう取り組むかを判断した時、実施すべき時と判断した。
目的は、はっきりしており、走りながら意見を聞いて直すので、独断や強引すぎたとの気持ちはない。

Q 包括支援センターの 体制は十分か

A 体制は整っている

問 国の制度改正で介護の仕組みが変わり、町でも包括支援センターを設置した。介護予防給付の内容も変わり、ヘルパーの在宅支援にも支障が起こる危険性があるか。
また、センターへの専門職の配置を含め、体制は整っているか。

健全な子どもを育成する目的の中で、朝食の補完は一つの方法と理解された。
職配置は、基準に従い社会福祉主事、保健師、主任ケアマネジャー、ケアマネジャーの四人体制。職種間の体制は整っている。
サービス提供事業者と利用者の支援内容を調整し、合理的な範囲で支援する。

答 村島包括支援センター長
包括支援センターの専門職の配置を含め、体制は整っているか。
町の不手際があった。再調査し対象者に謝罪、是正措置をとった。
今後は、職員のレベルアップを図り、厳しく指導していく。

問 障害者には町・県の補助や援助制度がある。障害者手帳を単に渡すだけでなく、助成制度の周知が欠けていないか。
答 松岡保健福祉二課長
福祉制度のあらゆるチラシや広報、各種会合で制度の周知に努めていたが、お知らせが不十分なことがあり反省している。
今後は、障害者手帳の交付時に、窓口でより親切に対応する。

Q まちの 食育推進計画は

A 子ども・大人も 食育を推進



最上 忠 議員

美咲町での食育推進計画

は。また、大人の食育はど
うする。

【答】 中力教育長
学校教育の中に栄養

教諭を県下で三人、美作地

【問】 六月は食育月間。文

部科学白書も教育改革
と地域・家庭の教育力の向
上を特集した。よく体を動
かし、よく食べ、よく眠る
という基本的生活習慣の乱
れも問題視、食育の推進を
課題の一つにした。

国の食育推進基本計画も
決定し、九項目の具体的な
数値目標が示された。なか
でも朝食をとらない子ども
をゼロにする。学校給食で
の地場産利用割合も食材を
30%まで増やす。生産活動
を体験することが食べもの
への感謝につながるとして
、学校農園を増やすと掲

が、給食が普及しているが
栄養士を中心に行っている。
学校給食の地場産利用は
米を中心に、季節に合った
果物、野菜を使用している
が、利用割合は計算してい
ない。
農業体験、特に総合的な
学習時間が学校教育の中に
導入以来どこの学校でも行
われている。農業生産活動
も町内では小学校の高学年
を中心に体験学習を行って
いる。しかし、農業経験が
ない教諭が半数ぐらいい



田植えは大変だった（柵原東・西小学校5年生体験学習）

り、農家の皆さんに手伝っ
てもらっている。農業体験
をまず教師からというのが
現実である。

【答】 野木保健福祉一課長
二十歳以上の人を対

象に基本健康診断をし、結
果説明会で栄養、生活指導
をしている。
ふれあいサロンなどへ出

向き、バランスのよい食事、
運動習慣の推進を一体的に
行い、生活習慣病の予防な
どを図っていく。
愛育委員、栄養委員など

の団体との連携により、家
庭における健全な食生活の
確立。食品の安全性に関す

る知識の普及と啓発。地域
の伝統食の伝承。また産業
課との連携により、地産地
消の推進などにも取り組ん
でいく。

Q 菜の花を育て 地域活性化へ A 花をテーマに まちづくり

【問】 環境保全、自然循環
への関心が高まっている
ことを追い風に、バイオ

マス（生物資源）の利用拡
大に弾みがついている。
京都議定書の発効を背景
に各地で進んでいる。近く
では、真庭市の木質バイオ
マス発電がある。
わが町もナタネ油で循環
型の地域をつくらうという
試作も行われている。夢を
夢で終わらせないために
は、幾つかの課題もあるが、
実効をあげ地域の活性化
を。

【答】 奥村町長
菜の花づくり、ナタ

ネから食用油を搾り廃食用
油をバイオ燃料として自動
車を走らせる。経済効果は
望めないが、環境問題に地
方行政もしっかり取り組む
ことも大切。
花をテーマにまちづくり

をとも考えている。観光開
発も花。町花はサツキと菊、
町木も桜なのでそういうも
のも増していきたい。
積極的に皆さんに働きか
けて広げていきたい。

一般質問

Q 食育推進事業の改善を

A 学校と連携し協議



松島 啓 議員

問 食育事業は、知育・徳育・体育の基礎となる。その部分に着目した施策である。行政がそこまで目を向けた事は、大変評価できる。

町内の小中学校のPTA活動で食育推進が共通の目標となり、啓蒙活動も行われ、町内外からも、注目を浴びている。 食べたい子ども全員に一齐に食べさせるのではなく、本当に朝食がとれず困っている子どもだけに食べさせる。家でしっかり食べている子どもも、朝食を食べなくなり、食育とは反対

の方向に行く危険性もあり心配。今後改善策が必要ではないか。 また、学校現場と連携し、一貫性のある指導が必要ではないか。

中力教育長

答 大反響を呼んだ事業であり、子どもたちのために成功裏に収まるように改善していきたい。学校と連



感性を磨き想像力を豊かにする読書（旭小学校図書室）

Q 学校図書の実を

A 図書標準は達成

さらに推進する

問 学校図書の充実は、子どもの読書推進のためにも不可欠である。子どもたちの活字離れ、読書離れ、そしてコミュニケーション能力の不足などが社会問題化している。子どもの読書活動は、言葉を学び、

感性を磨き、表現力を高め想像力を豊かにし、より深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないもの。すべての子どもが自主的に読書活動を行えるよう積極的に環境整備を推進しなければならない。

携、協議しながら食育から生活全般を見直すところまでつなげていきたい。

町内小中学校における蔵書の冊数、十八年度の図書整備費は、どうなっているか。

中力教育長

答 町内の小学校五校の蔵書の平均が約八千四百冊、中学校三校の平均が七千六百冊。書籍購入費は、子ども一人当たり二千円の予算を計上している。これは国の図書標準をはるかに上回っている。今後、読書の傾向、読まなければいけない本など学校で選定しながら読書活動を進めていきたい。

Q 学校司書を配置せよ

A 司書の配置を要望中

問 子どもと本をつなぐ、本との出会いを演出してくれる学校司書。岡山市では、十七年前から市内の全小中学校に専門の司書を配置している。今後、図書館司書とは別に、各地区一人ずつの学校司書を配置し、子どもの読書推進を図れ。

中力教育長

答 十二学級以上の学校には、国の措置で学校司書の配置がある。現在、町全体で二十学級以上で一人配置の要望も持っている。読書活動、司書の重要性が叫ばれている。教育委員会でも要望を検討している。

Q 施策の地域バランスは

A

数字的にはみられるが あまり格差はない



小島洋征 議員

考えてあまり無理のないように統一していくよう工夫している。地域活性化交付金は、現地との話し合い調

整段階であり、多少ばらつきがある。
主要事業の十七年度実績、十八年度予算は次の表のとおり。数字的には、ばらつきがあるように見受けられるが、起債の償還、赤字の部分、旧町持ち寄っての借金を払っていくなど、あまり格差はないと思っ

問

本年度の大きな事業を柱として、旭地区の未給水地区に対する水道整備事業、柵原北部簡水の浄水場移設事業などが計画されているが、施策の公平性は確保されているか、との声を耳にする。

答

公平性の具体化には、一定の期間も必要だが、一般公共事業に対する三地区への予算配分および今後の考え方は、
奥村町長
各種団体補助金、地域活性化事業交付金、防犯灯・草刈費も、バランスを

平成 17・18 年度主要事業地区別予算

(単位：千円)

事業	年度	中央地区	旭地区	柵原地区
建設	17	955,000	244,000	696,000
	18	752,000	194,000	877,000
上下水道	17	591,000	54,000	350,000
	18	433,000	102,000	600,000
道路小規模 土地改良事業	17	363,000	190,000	346,000
	18	319,000	92,000	277,000
地域活性化	17	5,500	10,600	-
	18	4,400	2,600	4,600

独自の教育行政は

問

国では教育基本法の問題、愛国心の問題など議論されている。一方では、子どもの痛ましいさまざまな事件が起こり、大人と同様に子どもの心の問題も取り上げられている。

美咲町でも独自の教育行政を教育現場、地域、社会全体で取り組む必要がある。

独自の教育制度をどのように考えているか。

答

中力教育長
教育改革は、教師の信頼回復、教師力、学校力の強化で子どもの生きる力を育むこと。地域、家庭、学校などすべての人の意識改革が必要。

中でも家庭教育が改革の原点である。忘れられた部分の家庭教育の見直しを行っていかねばならないと考える。

教育のカリキュラムを變更しながら、地方に合った独自の教育をしても構わないことになっている。



完成間近の美咲橋（緑花公園進入路）

議会を傍聴して

6月定例会の一般質問(6月12日、13日)を大勢の方が傍聴されました。気付かれたこと、議会のあり方など、お伺いしました。紙面の都合上、5人の方の声をお届けします。

町民が安心して生活できるように

美咲町の行政に、いかに女性が関心を持ってきているか、議会の方にも分かっていただきたい。

食教育の大切さ、子どもも大人も考え直す時点。すべての面へ目配りして、町民が安心して生活できる美咲町づくりに精を出してください。期待しています。

これから度々、議会傍聴に参加しようと思えます。自分の目で正しい判断をするために、人のうわさに惑わされないためにも。

六十代 女性

経験からの声に

耳を傾けて

食育について、賛否議論が交わされています。小中学校で乳製品を配る事業が始まって、二カ月経過したが、実際にそれを食している子どもたちが、自分で考えるようになってきたと教育長が述べておられます。

た。批判の声が多いから、これを中止にして、ほかの事業を検討すべきではないかとの意見もありました。が、実施を続ける中で、経験から生まれてくる声に耳を傾けて、そこから次に何をすべきかを考えることも大切だと思います。

五十代 女性

取り組みというのは、幅広い意味で評価できると思います。我が子が通う学校でも、反論意見がかなりあるようですが、私は、それはとてもいいことだと思います。むしろ、自分の子の通う学校に何が起きているも、無関心であることの方が問題だと思います。この



大勢の女性の傍聴で活発な議論

町の将来はみんなで考えて

朝食の補食事業に関心をもちておられる方が多いようですが、町民に関心を持つてもらえる一石を投じた

ことがきっかけで、美咲町の十年後、二十年後を一人でも多くの人と一緒に考えていければいいと思います。同じテーマの質問は、もう少し集約してもらえないでしょうか。

三十代 女性

分かりやすい身近な問題

身近な問題の質問には、興味があり分かりやすかったです。食育の問題には関心がありましたので、よく分かりました。我が家の考えが良かったのかなあとほっとしています。私たちに

は、食のことくらいしか応援できませんので、しっかりとやっていかなければと再認識しました。将来を担う子どもたちに、応援できることを探していきたいと思っています。

七十代 女性

町民として議会に参加

時間的都合上、三人の議員さんの質問しか聴けませんでした。十分ご愛顧ください。(松島記)

時間的都合上、三人の議員さんの質問しか聴けませんでした。十分ご愛顧ください。(松島記)

編集後記

時間当たり八十五ミリの記録的な集中豪雨により、被害にあわれた方々に、心よりお見舞い申し上げます。

六月定例会が開会され、小中学校の食育推進事業に質疑が集中し、活発な意見、討論が繰り広げられました。「飽食の時代」この事業を機に、子どもたちだけでなく、町民全体の「食」も考えていければと思います。帰省が始まります。各地で、盆おどり、夏まつりが開かれます。まつりは地域を元気にする源です。まつりを通じて地域の輪を大きく広げていきましょう。

まだまだ暑い日が続きます。十分ご愛顧ください。(松島記)

- 議会広報編集特別委員会
- 委員長 岡田 壽
 - 委員長 日神山定茂
 - 最上 忠
 - 貝阿彌幸善
 - 松島 啓
 - 寒竹 壽